令和6年大網白里市議会 第1回定例会 市長事務方針

2月20日から3月19日まで、市議会第1回定例会が開催されました。開会日に市長から令和6年度の事務方針が述べられましたので、概要を掲載します。なお、可決議案等の詳細は、市ホームページをご覧ください。

令和6年度当初予算・今後の財政運営

一般会計の規模は、過去最大の163億9千万円となり、人件費や社会保障費の増加により、約2億8千万円を財政調整基金から取り崩しましたが、公債費の減少や下水道事業会計への繰出金抑制、歳入面で地方交付税やふるさと応援寄附金の増額が見込まれることなどから、繰り入れ額は、令和5年度比で約1億5千万円の改善が図られました。

今後も、財政健全化に向けた取り組みを堅持し、持続可能な財政運営の確立に努めます。

ふるさと納税

1月末の時点で、ふるさと納税寄附金額は、7億4千70万円に達し、令和4年度の同時期に比べ1億5千964万円の増収となりました。

今後も、本市の魅力を発掘・発信し、ふるさと納税の増収につなげます。

企業誘致

スマートインターチェンジ開通を契機に、企業等誘致条例を全面的に見直し、企業進出の促進に努めましたが、現行制度は、県内他自治体の誘致政策と比較しアドバンテージが少なく、より一層の企業誘致の推進を図ることが重要であると考えます。

企業誘致の推進を図るに当たり、今定例会に条例の一部改正案を提出しました。本市経済の活性化、雇用機会の拡大を図るためにも本条例の施行と併せ、企業誘致の推進を図ります。

防災関係

石川県能登地方の被災地支援に向け、令和6年1月21日から24日まで大網病院の看護師1人、2月6日から10日まで職員2人を被災地に派遣しました。

被災地での活動経験を共有した上で、今後の市の防災力の向上に活かします。

また、大きな被害が懸念される地震災害への対応能力の向上を図るため、3月10日に、海岸部にお住まいの方々を対象とした津波避難訓練を実施する予定です。

▲津波避難訓練の様子

このほか、令和6年度の防災訓練には、災害種別に応じた住民参加型の実践的な訓練を計画し、自主防災組織や消防団など、関係機関等と連携を保ちながら、防災意識の高揚、防災・減災対策を進めます。

証明書等のコンビニ交付サービス

マイナンバーカードを取得する方が大幅に増加し、本市のカード取得率が75％に達したことに加え、市民の方々からのご要望や国からの交付金が活用できることなどを勘案し、令和6年度当初予算に関係経費を計上しました。開始時期は令和6年12月ごろを目標としています。

保健衛生

令和6年度より新たな計画に基づいた保健事業を推進し、被保険者の方々の健康増進を図り、医療費の抑制につなげます。

新型コロナワクチンの接種は、接種希望者の減少に伴い、12歳以上を対象とした集団接種は終了し、市内医療機関での個別接種で対応しています。

4月以降は、国から「65歳以上の高齢者の方などを対象に、年1回の接種を行う」旨の方向性が示されていることから、引き続き、適切な接種に向け準備を進めます。

子育て支援

策定を進めている「第3期子ども・子育て支援事業計画」は、令和5年に保護者へのアンケート調査を実施し、調査結果の集計・分析作業を進めています。今後は、教育・保育のニーズや課題等を整理し、策定作業を進めます。

また、妊娠・出産等、子育てに関する切れ目の無い支援を推進するため、不妊治療に対する助成や、妊娠届出後に5万円、出生届出後に5万円を交付する「出産・子育て応援交付金事業」に取り組んでいます。令和6年度からは、さらに、産後ケア事業の利用者を対象とした利用料の減免を実施するほか、3歳児健診の充実などを実施します。

そのほか、学童保育は、市の直営6施設を大網学童保育室と同様、指定管理者制度により運営を行うことが望ましいものと考えていることから、引き続き、課題を整理しながら必要な準備を進めます。

認定こども園

「(仮称)しらさとこども園」は、施設面・設備面共に「認定こども園」の認可要件を満たしていることが確認されたことから、当初の方針どおり、令和7年の開園に向け準備を進めます。

統合後の運営が円滑にスタートできるよう引き続き取り組みます。

社会福祉関係

策定を進めている「第3次障がい者計画」、「第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」は、現在、パブリックコメントを実施しています。今後、意見等を反映し、障がい者計画等策定懇談会に諮った上で、最終的な策定作業に取り組みます。

また、物価高騰対策として、住民税均等割のみ課税世帯に対し、1世帯当たり10万円、低所得の子育て世帯に対し児童1人当たり5万円を支給する補正予算案を今議会に提出しました。議決後、すべての対象世帯に滞りなく給付金が支給できるよう周知を行います。

高齢者福祉

第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画は、市介護保険運営協議会で、高齢者福祉施策や介護保険事業の充実などの計画案を取りまとめたところです。

今後は、地域包括ケアシステムのさらなる推進に重点を置いた「高齢者が地域で活躍できるまちづくり」、「介護が必要になっても安心して暮らせるまちづくり」を目指します。

また、成年後見制度利用促進基本計画も案がまとまりましたので、本制度に該当する方々の権利擁護に向け、施策を推進していきます。

このほか、「こすもす手帳」の内容を拡充した改訂版を作成し、3月以降高齢者の方々に順次配布していく予定です。

環境対策

今後、市内4箇所のリサイクル倉庫で食品トレイ以外の廃プラスチックも拠点回収ができるよう準備を進めます。

また、生ごみの減量化を推進するため、家庭用生ごみ処理機などの購入費用助成制度の周知に努めます。

市長とのふれあいミーティングを開催

第26回 市美術会

市では、市民や各種公益団体、事業者等、幅広い分野に携わる多くの方々と自由な意見交換を行うことで「未来に向けてみんなでつくろう！　住みたい・住み続けたいまち」に向けた今後の市政運営への参考とするため、ふれあいミーティングを開催しています。

26回目となる今回は、市美術会の皆さんにお話を伺いました。

※「市美術会」以下「美術会」

市長 美術会の皆さんの活動について教えてください。

美術会 絵画、彫刻、工芸、書道の各部門で、発表会や研修会、教室などをそれぞれに行っていますが、美術会としての主要な行事は、「ふるさと美術展」です。近年は、「MOA美術館大網白里児童作品展」の入選作品の展示も行うようになりました。この児童作品展の入選者を対象に開催した特別ワークショップでは、参加した児童が、実技体験として絵の具で個性豊かに人物画を描き上げた後、美術会員から入選作品の講評を受けたほか、解説を聞きながら「ふるさと美術展」の作品を鑑賞しました。

市長 2月に開催された「ふるさと美術展」は、大盛況でしたね。また、子どもたちにとって、本格的な美術に触れる機会があることは、とても有意義ですね。活動を行う中で、心掛けていることは。

美術会 プロ、アマ関係無く、常にチャレンジ精神を持ち、作品を見た人に夢やヒントを与えられる人を「作家」であると捉えるよう、心掛けています。また、作品に臨む際に、素直な感覚で仕上げることも大事にしています。

美術会は、自分の専門だけでなく、さまざまなジャンルと関わりがあるところも大きな魅力なため、新たな方々に興味を持ってもらい、活動の幅を広げることにも注力しています。

これまでの経験を活かし、創作活動で自分の心を自由に表現する楽しみを、子どもたちや一般の方々に伝えていくことも大切と考えます。

市長 苦労したことは。

美術会 コロナ禍では、展覧会を通常どおりに開催できないことがあり、その苦況を乗り越えようと、市教育委員会生涯学習課等と協力し、市デジタル博物館内で「デジタル美術展」として公開しました。苦労もありましたが、鑑賞した方からの反響が、活動の励みになりました。

市長 今後はどのように活動を展開していきたいですか。

美術会 子どもたちに美術に親しんでもらう活動を一層充実させるとともに、今までに無い取り組みも検討していきたいです。例えば、外国の方と美術作品を鑑賞しながら意見交換できるような企画などです。また、近隣や関係団体との連携も視野に入れながら、文化交流の場を発展させたいです。

市長 美術会や美術展に興味のある方へメッセージを。

美術会 美術が好きな方は、ぜひ積極的に「ふるさと美術展」に応募してほしいです。美術会の活動が、ひとりでも多くの方にとって、自分を表現できるきっかけや、レベルアップの機会となれば嬉しく思います。

布やゴム、プラスチック等の通常想定されない異物を流すと、配管や汚水を処理場へ送るポンプ等の中で詰まり、故障の原因となりますので、下水道に異物を流さないでください。　問下水道課施設班　☎0475（77）5575